

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 11月～ 」

スポーツ課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
全日本学生フェンシング選手権大会 男子フルーレ個人	3位	H17.11.2	阿部 芳隆 (朝日大)		<p>準決勝で坪井(立命館大)に僅差で惜敗し、3位決定戦で千田(中央大)に15対14の接戦を制し、3位入賞を果たした。</p> <p>準決勝で高木(日大)を僅差で破り、決勝戦に進出。決勝では、小川(法大)に5対15と圧勝を許すも準優勝に輝いた。</p> <p>準決勝で中京大を5対3で破り、決勝戦は日体大との対戦。日体大に0対5で完敗し、2位となった。</p> <p>準決勝で松本(早大)に15対4で圧勝。決勝においても堀(中京大)と対戦し、15対5の圧勝で同種目2連覇を果たした。</p> <p>準決勝で加藤(日大)に6対15で圧勝。決勝戦では坂本(中大)と15対13の接戦を制し、頂点に立った。</p> <p>準決勝で日体大に4対5で惜敗。3位決定戦では拓大を2対5で制し3位入賞を果たした。 (東京都:駒沢屋内球技場)</p>
男子サーブル個人	2位	H17.11.4	浅野 慎允 (朝日大)		
女子エペ団体	2位		朝日大		
女子サーブル個人	優勝	H17.11.5	中山セイラ (朝日大)		
男子エペ個人	優勝		伊藤 祐樹 (朝日大)		
男子エペ団体	3位	H17.11.6	朝日大		
2005年第47回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会 男子コンパウンド	3位	H17.11.6	山田 彰 (トーカイ)		

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第23回レディース陸上競技大会 女子1500m(13~15歳)	優勝	H17.11.3	平岡 知佳 (中部中)		3組のタイムレースで総勢45人が出場。平岡は1組のレースで4分53秒70をマークし優勝を飾った。 (東京都:国立競技場)
第39回全日本社会人卓球選手権大会 女子ダブルス	3位 優勝	H17.11.5	高橋美貴江 潮崎 由香 (十六銀行) 末益亜紗美 (日本生命)	富田高出身	準決勝で、高橋・潮崎組は末益・平野(日本生命・ミナウ)組と対戦し、相手の緩急のある攻撃に苦しめられ、1対3で敗れて決勝進出はならず3位となった。末益組は決勝まで進み、藤沼・樋浦(ミナウ)組を3対2で破り優勝を飾った。 (沖縄県:那覇市那覇市民体育館)
女子シングルス	2位	H17.11.6	高橋美貴江 (十六銀行)		実力通りに勝ち進み、準決勝では樋浦(ミナウ)を4対0で圧勝。決勝は小西杏(アスモ)との対戦となり、先に3セット連取するも、その後4セット連取され惜しくも優勝を逃した。 (会場:同上)
2005全日本チーム対抗自転車競技大会 4,000m団体追い抜き	優勝	H17.11.3	岐阜県チーム	青木康貴 川西貴之 中島和夫 不破将登	各ブロック代表の都道府県対抗優勝チームと学連(大学生)、高体連、実業団の選抜など12チームが出場。4km団抜き決勝では、予選1位通過で上位2位チームによる決勝で学連に圧勝。
1,000mタイムトライアル	優勝		不破 将登 (岐南工高)		1kmタイムトライアルで、不破が大学生を相手に1分10秒261で圧勝。チームプリントでは予選1位で通過し
チームスプリント	優勝		岐阜県チーム	近藤 良太 近藤 洋基 山田 佳典	上位2チームによる近畿代表との対戦で僅差による優勝。タイムトライアルの決勝では、近藤が佐川(学連)を僅差でかわし、19秒342で優勝を飾った。
250mタイムトライアル	優勝		近藤 良太 (岐阜第一高)		全国大会で全種目制覇したのは初めての快挙で、総合優勝を果たし、自転車王国・岐阜を改めて印象づけた。 (静岡県:日本サイクルスポーツセンター)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第46回全日本ボート新人選手権大会 かじ付き4人スカル	優勝	H17.11.6	若井 江利 (早稲田大)	加茂高出身	高校・大学・企業等で競う大会。13クルー(4組)が出場。予選・準決勝と1位通過し、決勝も堂々の1位でゴールした。 (埼玉県:戸田漕艇場)
第4回東アジア競技大会(2005) 空手競技 男子組手75kg級	優勝	H17.11.6	松久 功 (N.K.C)	岐南工高出身	松久は決勝まで進み、決勝の相手は黄昊(台湾)で、最初に右上段突きでポイントを奪うが一進一退の末、最後は集中力を発揮し5対3で勝ち、優勝を果たした。 (マカオ:IPM Multi Sport Pavilion)
平成17年度全日本卓球選手権大会(マスターズの部) 男子サーティ(30歳以上)	優勝	H17.11.13	岡野 康幸 (天龍工業)		各都道府県代表による37グループ112名の参加。予選リーグで強豪の野中(東京)を破り、決勝トーナメントでも強豪の中村(千葉)らを退け決勝戦に進出。決勝では西川(神奈川)を3対1で破り初優勝を果たした。 (山口県:スポーツ文化センター)
平成17年度関西学生ホッケー秋季リーグ 女子1部	2位	H17.11.19	東海女子大		リーグ最終日に強豪の天理大との対戦。結果は1対4で敗れ、天理大の9連覇を阻めず、その結果、4勝1敗となり2位にとどまった。 (奈良県:天理市親里ホッケー場)
2005東京国際女子マラソン大会	優勝	H17.11.20	高橋 尚子 (ファイテン)	県岐阜商高出身	大会前に右脚のふくらはぎなど3か所に軽い肉離れを起こしていた。しかし、レースでは前半、先頭グループの中で慎重な走りだったが、終盤の35.7km地点の最も難所の上り坂でスパートし2時間24分39秒で大会初優勝を飾った。一昨年、同大会で終盤に失速し2位で、アテネ五輪の切符を逃した、そのリベンジを果たすとともに見事な復活を遂げた。 (東京都:国立競技場)

